

第11回  
千葉県建築文化賞  
表彰作品集

2004年

主催：千葉県 共催：(社)千葉県建築士会

# 千葉県建築文化賞について



千葉県知事 堂本 暁子

平成16年度の千葉県建築文化賞に多くの皆様から御応募をいただき、誠にありがとうございました。

千葉県建築文化賞は、すぐれた建築物を表彰することにより、建築文化や居住環境に対する意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に平成6年度に創設されました。

第11回目となる今年度は、63点に及ぶ多彩な作品が寄せられましたが、選考委員会の厳正な選考に基づき、建築文化賞4点及び建築文化奨励賞3点を決定いたしました。

受賞作品は、街に開放された3層の広場と街並が一体となって明るい景観がつくりだされた都市型キャンパス、利用者のコミュニケーションをはぐくむ広場として市民参加により計画が練りあげられた多機能の福祉施設、中庭とデッキテラスを巧みに配置した回遊方式により多機能を融合させた福祉センター、環境への配慮として解体後の再利用に向け集成材パネルを使用し、明るく開放的な住宅など、いずれも2004年の千葉県建築文化賞にふさわしい質の高い先導的な建築物です。

関係の皆様の情熱と新しい発想が込められたこれらの建築物は、地域社会の中で親しまれ、より良い街づくりの推進と今後の建築文化の発展に貢献するものと期待しております。

県といたしましても、本県の気候風土を背景に生み出されてきた生活文化、伝統文化、歴史などを大切に、県民一人ひとりが千葉に住む幸せと誇りを感じ、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、それぞれの持ち味を出して生き生きと暮していける新しい地域社会を、県民の皆様とともにつくっていきたいと思っています。

結びに、受賞者の皆様の今後ますますの御活躍をお祈り申し上げますとともに、選考委員、共催団体など関係の皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

平成17年3月

## 目 次

千葉県建築文化賞について	… 1	選考経過と総評	… 2
流通経済大学 新松戸キャンパス	… 3	四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」	… 4
三和保健福祉センター	… 5	みつわ台の家	… 6
船橋のミニ戸建て開発	… 7	鰻 大和田	… 8
瀧仙郷(森田邸)	… 9	応募〔推薦〕建築物一覧	… 10
建築文化賞選考委員会	… 10		

# 応募63点から7点入賞(選考経過と総評)

## (選考経過)

第11回千葉県建築文化賞は6月の委員会で募集要領を定め、平成16年7月初旬から8月末まで応募を受け付け、総数63点の応募をいただいた。(部門別内訳は下表のとおり。)依然としてきびしい社会経済情勢の中、残念ながら点数は昨年より16点減少したが、応募作品の水準は平均して高く、むずかしいが手応えのある選考となった。

第1次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに2回の投票を行ったうえで、景観部門4点、高齢者・障害者部門3点、環境部門5点を選んだ。次いで10月下旬と11月上旬の3日間をかけ、現地を訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。第2次選考は平成16年12月開催の委員会で、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議を重ねながら優秀な建築物を選んだ。

(選考の過程) (3部門の対象)	応募点数	(1選考) 現地調査	(受賞作品選定)	
			建築文化賞	同 奖励賞
景観に配慮した建築物	38	4	1	2
高齢者・障害者等に配慮した建築物	12	3	2	—
環境に配慮した建築物	13	5	1	1
(合 計)	63	12	4	3

## (総 評)

### 景観に配慮した建築物

応募38点は、いずれも景観形成への注意深い配慮を感じさせるものであったが、今回は規模の小さいもので好感の持てる作品が多くかった。

建築文化賞の「流通経済大学 新松戸キャンパス」は、交差点に面する立地を活かし、3層の広場を街に開放することによって、新市街地を貫くけやき並木と一緒にになった明るい景観をつくりだし、市民に開かれた都市型キャンパスを実現している点が高く評価された。

奨励賞の「鰐 大和田」は、全体を包み込んだ木製格子が半透明のスクリーンとなって街並みを引き締めており、「船橋のミニ戸建て開発」は、とかく問題を起こしがちなミニ開発に正面から取り組み、若々しいライフスタイルを表現する景観を生みだした点が評価された。

### 高齢者・障害者等に配慮した建築物

この部門の応募は12点であり、福祉施設に見るべきもの多かった。

「四街道市南部総合福祉センター わろうべの里」は、市民参加のワークショップを通じて設計を練りあげた施設であり、吹き抜けの“縁日通り”が5つの機能を結びつけると同時に、利用者のコミュニケーションをはぐくむ広場として役割を果たしている。「三和保険福祉センター」も7つの機能が複合しているが、中庭とデッキテラスを使って回遊性をつくりだし、明るく好感の持てる施設となっている。この結果、2点が建築文化賞とされた。

### 環境に配慮した建築物

この部門の応募は13点であり、専用住宅に意欲的な取り組みが目立った。

建築文化賞の「みつわ台の家」は、12cm厚の集成材板を使った明るく開放的な住宅であり、解体後の再利用も視野に入れた環境への総合的配慮が高く評価された。また、この作品は周辺の街並みに配慮し、美しい景観形成にも貢献している。

奨励賞の「龍仙郷(森田家)」は、房総半島中央の山里に、敷地に生えていた木を使って建てられた住宅であり、環境と一体化したおおらかな設計と住みこなし評価された。

なお、現地調査対象のひとつ「くりもとミレニアムシティ」は、セルフビルト方式の環境共生建築として委員の関心を集めましたが、COYAと呼ばれる専用ユニットのデザインと構造、周辺環境や地域社会との関係など、まだ今後に残された課題が多く、表彰候補とはならなかった。

## 選 考 の 基 準

- 千葉県内において、平成11年4月1日から平成16年3月31日までに完成(増築、改築、リフォームを含む)し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰趣旨にそっているもの。
- 機能性やデザインなど総合的にみて優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
  - ①地域の特性や周辺の環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
  - ②安全性・快適性・利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易に出来るような環境整備がなされているもの。
  - ③エネルギーの省力化や資源の高度な有効利用を図ったり、地域生態環境と親和させるために、自然を取り入れた建築の工夫がなされるなど、人と環境に対して安全安心で健康快適な室内環境の性能について配慮がなされているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないもの。

## 建築文化賞

景観に配慮した建築物

地域との共生・都市景観の形成

# 流通経済大学 新松戸キャンパス

建築主：学校法人 日通学園

設 計：清水建設株式会社一級建築士事務所

施 工：清水建設株式会社 千葉支店

所在地：松戸市新松戸3-2-1



新松戸駅から徒歩5分の立地を活かした、都市機能と連携する社会に開かれた大学キャンパスである。

集合住宅や商業施設に隣接する敷地に、3方を校舎棟で囲み、高層棟を北側のけやき通りに配置して、周辺市街地のランドマークとして位置づけている。

街並みに対しては、けやき通りと一緒にとなったオープンプラザを設けて大学のエントランスとし、同時に地域との交流空間として積極的に街に提供している。

透明感のあるブリッジは大学のゲートの役割を果たし、正面の大階段は地域にも解放する講堂に人々を誘導する。

講堂の屋上にキャンパスプラザを設け、緑豊かな空中庭園的な屋外広場として整備し、学生や市民の交流の場として生き生きとした賑わいを見せていている。

広場の周囲に設けられたブックセンターーやカフェは、地域の人々にも開かれた生活空間として親しまれ、図書室や学生食堂も会員制で市民の利用に

けやき通りと一緒にとなる オープンプラザ・エントランス供している。

敷地の外周に面した開口部は周辺へ配慮して極力抑え、中庭に向かって大きく開口するファサードは、光や風の制御装置として、また各室の機能性や学生の動きなどを表現要素としてデザインされていて、その変化に富んだリズミカルな表情は眺めても楽しい。キャンパスライフを楽しむ学生たちの輝いた表情が印象的で、隅々まで丁寧に造り込まれた洗練された質の高い生活空間に共感を覚えた。地域のイルミネーションコンテストで大賞を受賞するなど、街の活性化にも積極的に参加し、地域との共生・良好な都市景観形成の両面で高い評価を集めた。

(明智克夫)



学生の中心となるキャンパスプラザ



外部を感じるコンピュータ教室

## 建築文化賞

高齢者・障害者等に配慮した建築物

建築主：四街道市

設 計：株式会社 佐藤総合計画

施 工：戸田建設株式会社千葉支店

鶴沢建設株式会社

所在地：四街道市和良比635-4

複合施設の楽しさをひきだした

### 四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」



正面玄関側からの外観

住民を交えたワークショップ形式で設計が進められたという「わろうべの里」は、子供連れの親子でぎわっていた。老人福祉センター、児童デイサービスセンター、地域コミュニティーセンター、福祉ショップという5つの機能をあわせもった複合型の公共施設である。こうした複合型の施設はこれから増加していくと考えられるが、そのときの課題は複合することによるメリットをうまく引き出すことができるかということだろう。それぞれの施設の機能性の違いや行政の管轄の違いによって、ただ壁を共有しているだけ、もしくは不自然に区画されていたら、なかなか複合によるメリットを引き出すことは實際には難しい。「わろうべの里」では、エントランスを含めた大空間に多機能な空間が混在し、それぞれの活動が居合わせている、その雰囲気はなかなかに楽しい。エントランスの庇など、意匠

的には洗練されない箇所がいくつが気になるが、全体の構成としては、こうした施設のひとつの望ましい解答とみることができるだろう。

(篠原聰子)



2階縁日通りブリッジより南東方向を望む



2階：本のひろば／1階：娯楽室

## 建築文化賞

高齢者・障害者等に配慮した建築物

地域に親しまれ愛される施設

### 三和保健福祉センター

建築主：市原市

設 計：株式会社 榎本建築設計事務所

施 工：株式会社 鈴栄組

株式会社 本吉工務店

所在地：市原市海士有木225-4



エントランス外観

この施設は、地域福祉の充実を推進するための施設として、市内で3番目に今夏オープンした。「保健福祉センター」(・地域福祉センター・障害者福祉センター・老人福祉センター・児童館・ヘルスステーション)と「発達支援センター」(・ことばの教室・マザーズホーム・療育相談室)を併設、多くの機能が盛り込まれた複合施設である。

建物はRC造2階建て。2つの中庭を中心にして、それぞれの機能を持つ室を回廊型の廊下で繋ぎ、行き止まりのない分かり易い平面構成である。要所に巧みに設けられたデッキテラスにより、自然の光、風が十分に取り込まれ、心地よい室内環境が確保されている。同時にその活動は屋外にまで広がり、互いを感じあいながら、施設全体のつながりを生む仕掛けになり、明るく健康的な雰囲気をつくりっている。

この施設計画に当たっては、既存施設における経験を生かしながら、企画段階から関係団体や地域住民に参画を求める

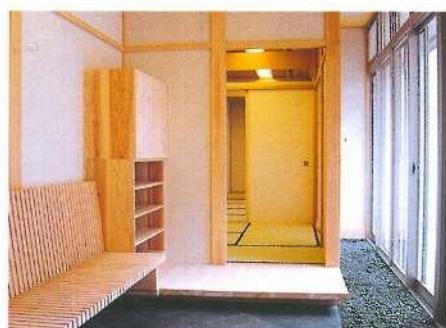
と共に、関係部署、委員会等の意見や助言を取り入れて計画されたという。その結果の配慮であろうか、2つのセンター間に「融合性」よりも「独立性」が重視されていることが少々気がかりだ、という意見もあった。

隣接地には、三和地区の行政の核となっている三和支所や体育館、三和コミュニティーセンターがあり、この施設が加わることで、より一層「地域で支えあう福祉」の充実が図られるであろう。すべての人が健康で生きいきと暮らせるまちづくり、幅広い地域福祉事業の推進など、新しい活動の拠点となるようになると期待したい。

(夏目 幸子)



ホールより中庭を望む



和室（茶道など多様な使い方をする施設）

建築主：石田 久枝

設 計：株式会社 結設計

施 工：佐藤建設工業株式会社 東京支店

所在地：千葉市若葉区みつわ台4-4-11

街に移した森のひとつの型

## みつわ台の家



6

東側夕方外観

建築材料としての木材と地球環境問題との関係を念頭に置いた普遍的な木構造技術の開発と、それを応用した特殊解の発見。この困難なテーマに挑んだ野心的な住宅作品である。建築に造詣の深い施主の思いとライフスタイル、そして理解に恵まれて、作者のこの住宅に秘めた野心はみつわ台に開発され成熟しつつある住宅地一帯に穏やかな輝きを放っている。

火事に耐える分厚い(12cm)集成材パネル(幅45cm、長さ5m)を耐力壁に用いた住宅としては9作目にあたる。今回は中空ボックス断面の屋根構造にも応用し上階に柱のない空間を実現した。これは木材生産の上流側出身者である作者が日本の森林資源の循環型再生を念じ、木構造の専門家とともに長年の試行錯誤の末に開発した構法システムである。

システムとしての普遍性と住宅作品としての特殊解の両立は、実現可能なコストで決まる。そのぎりぎりの解を模索したこの住宅は、その両面を垣間見ることのできる快い緊張感と魅力に溢れている。また、面で構成された室内空間は最上階に浮かぶ一枚の白い天井を戴き、オープンな空間

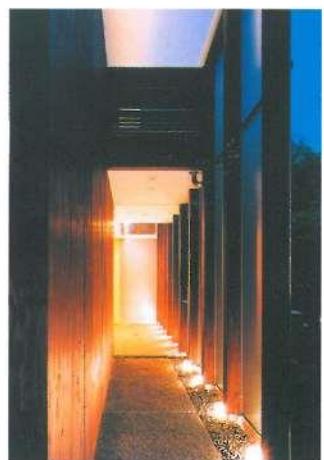
構成によって四方向からの日光を欲しいままにしている。また夜間には四周の開口部周りに仕込んだ人工照明が点り、白い天井と住いの佇まいが暖かく美しくまちに映える。

本構法の環境性能に関する作者の期待と目論見にはやや過剰な部分もあるが、その結論は今後の事後検証の結果に委ねたい。いずれにしても、伝統的木造住宅文化の分厚い蓄積に環境的視点を交えながら切り込もうとする材料・構法上の取組みと、木造住宅の手慣れたディテールの積み重ねの妙が本賞にふさわしいと判断された。

(岩村和夫)



居間とデッキを望む



アプローチ夜景

# 建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

光と風の小集落

## 船橋のミニ戸建て開発

建築主：株式会社 アール・エイジ  
設計：有限会社 architecture WORKSHOP  
設計：株式会社空間研究所  
施工：阿部建設株式会社  
施工：大秀建設株式会社  
所在地：船橋市海神2-2-20



外観

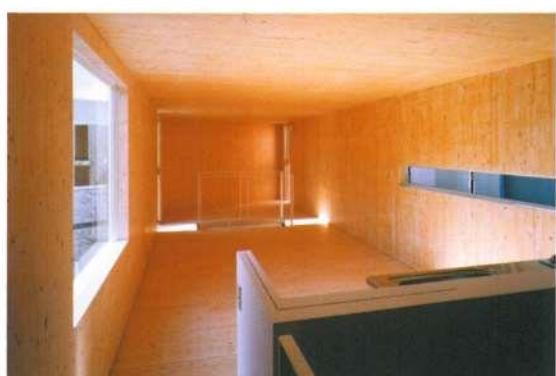
JR総武線に隣接する150坪ほどの宅地を5分割して建てられたミニ開発の住宅である。表彰作品はその内の4戸であり、中央に挿入された進入道路を囲んで配置されている。各戸と進入道路の間には塀や柵がなく、同一の舗装なので、広場を中心とした小さな集落を思わせる空間が生みだされている。

ミニ開発は、細分化された敷地いっぱいに住宅を詰め込み、密集市街地の環境をさらに悪化させ、景観の混乱に拍車をかける元凶になってきた。しかし、この開発は4つの区画を一括りに扱うことによって、建て込んだ住宅地に光と風を導き入れ、新しい景観を創出している。

線路側の2戸は、ガラス面を大きくとった1階の上に2層のパティオハウスを載せた構成をとり、北側の2戸は、鉄筋コンクリート造の1階の上に集成材パネルによる箱状の2階を載せている。いずれもデザインの質が高く、若い世代に新しいライフスタイルを提示する魅力ある住宅である。しかし、他の世代にとっては住みこなすのがむずかしい、対象の限定された住宅とも言えよう。

なお、この開発は波及性をもつモデルとしても期待されるが、5番目の区画にまったく異質なプレファブ住宅が建っているのはその点で残念である。

(北原理雄)



C棟



A棟

## 建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

建築主：鰻 大和田 梅沢 博

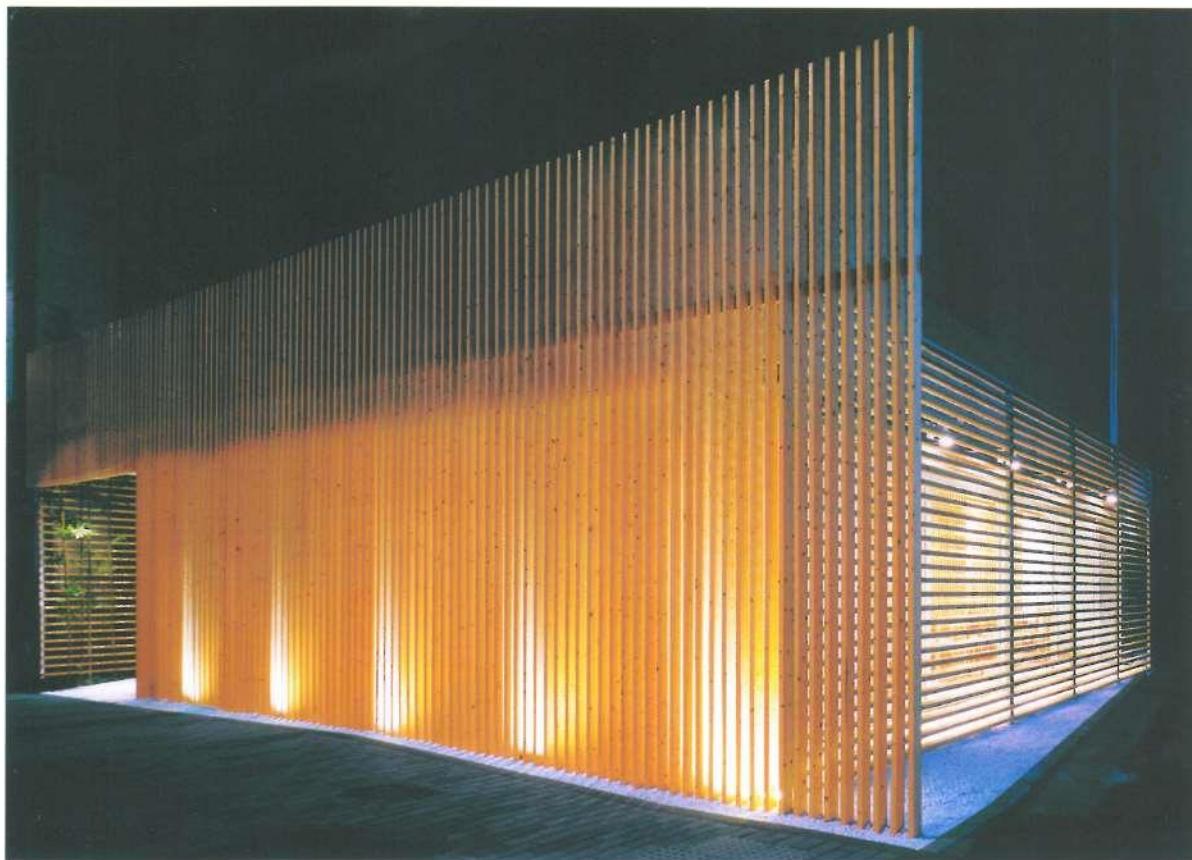
設 計：有限会社古里設計一級建築士事務所

施 工：株式会社トキタ工務店

上質な街並みデザインへの貢献

所在地：柏市明原1-7-1

鰻 大和田



店舗夜景（撮影（株）わたなベスタジオ）

8

対象は、柏市の国道6号線に面した7階建てワンルームマンション1Fに開店した延べ床面積73m<sup>2</sup>の店舗である。

建築の耐用年数に比して、店装には営業的な要求からの短期改装の例も多くあり、賞の対象を広げるには議論のいるところでもあったが、「鰻 大和田」の好感を与える外装が、上質な町並みデザイン形成に貢献すると期待されての受賞であった。

店舗デザインは内外装を自在に扱ういわば舞台演出。とはいえば舞台と異なるのは観客ではなく来客に安全で快適な空間を提供することだ。

ここでは内外装ともにデザインの基調に、角材の簾のこ張りが用いられ、それは昔の町屋によく見た連子窓が連想されて巧みに和の空間を作っている。

そして簾のこ張りの繰り返しという

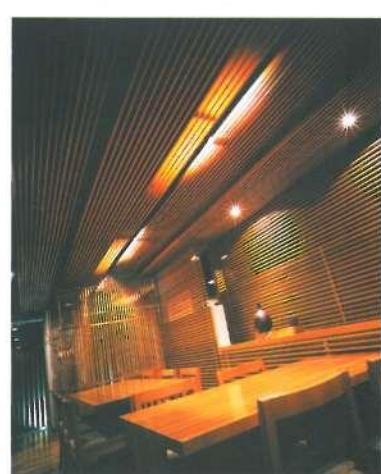
シンプルな表現は、店舗に強く要求される印象度を高くしており、しかも見え隠れを促す間仕切りは店内の広がりを感じさせ、飲食店としてのゆとりある客席空間作りも成功させている。

美味しい料理と美しい町並みは、その街に培われる文化の象徴である。そして住みたい街は訪ねたい街でもある。

（野口瑠璃）



店舗内観（撮影 高橋昌弘/商店建築社）



# 建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物

セミリタイアライフを満喫する木立の中の家

## 瀧仙郷（森田邸）

建築主：森田 泰次

設計：株式会社UCA・都市・建築設計事務所

施工：有限会社篠崎工務店

所在地：君津市山滝野582



9

南側外観：左手に見える階段より広いウッドデッキに上り正面右手に玄関がある。ウッドデッキの屋根には網入りガラスのトップライトがある。

房総の森の中に、その環境を存分に楽しむために建てられた、セミリタイアした夫婦の住宅である。東には房総の豊かで穏やかな山並みを望み、南には雑木林、5年もかけて土地を探したという建築主のこだわりが、建築のあり方にも生きている。なるべく、敷地の木を切らず、切った木はできるだけ建築に使用するという配慮もそうした場所への愛着と感じられる。木材の質感を前面に出し、幅の広い木デッキのテラスに囲まれた室内はのぼり梁によって高く持ち上げられたおおらかな空間

である。内部は住まい手によって、心地よく住みこなされている様子が伺われた。木造ということもあって、住まい手自身が、様々に手を加えて、生活と建築がシンクロして様子が微笑ましい。この建築が何か突出したものをもっているというわけではないのだが、住まい手がつくり続けていける隙をもつおおらかな木造住宅が、セミリタイアライフに大きな意味を持っていることは間違いないように感じられる。(篠原聰子)



## 応募(推薦)建築物一覧(地域・市町村別) (51作品)【 ◎表彰の対象となったもの ★現地調査の対象となったもの】

( 借しくも選にもれた建築物にも、それぞれ優れた配慮や特長がありました。 )  
 携わられた方々に敬意を表し、ますますの御活躍を期待しています。

[千葉市内]		[印旛地域]	
下田の家	若葉区	◎四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」	四街道市
山王病院ポジトロンCT(PET)画像診断センター	稻毛区	成田市保健福祉館	成田市
ウォーターホールのある家	中央区	ナスパコート公津モデルハウス	成田市
千葉経済大学学生ホールエステリア	稻毛区	シャレーK2	酒々井町
東洋理容美容専門学校3号館	中央区	若萩の家	印旛村
F-b I d g	花見川区	今村邸	白井市
MaKuHari-Box Chiba nissan	花見川区	スカイプラザ・ステーションタワー	佐倉市
千葉花見川消防署	花見川区		
西登戸会館	中央区		
千葉健生病院 まくはり診療所	花見川区	佐原市立香取中学校	佐原市
樋浦修臣邸	緑区	★くりもとミレニアムシティ	栗源町
千葉県立千葉商業高等学校	中央区		
◎みつわ台の家	若葉区		
[千葉地域]		[海匝地域]	
◎三和保健福祉センター	市原市	グループホームかすが宛	鎌子市
★日本経済新聞社千葉別館	習志野市		
千葉県習志野警察署	習志野市		
★silver fox	八千代市		
緑ヶ丘プラザ	八千代市		
[東葛飾地域]		[安房地域]	
富士見幼稚園	船橋市	鴨川の舎	鴨川市
◎船橋のミニ戸建て開発	船橋市	龜田健保保健福祉会館	鴨川市
大谷邸	船橋市	早稲田鴨川セミナーハウス	鴨川市
サンウッド市川真間グリーンヒルズ	市川市	串浜区民会館	勝浦市
妙典オリモトハイツ	市川市		
林邸	市川市		
★浦安市障害者福祉センター	浦安市	君津中央病院	木更津市
柏オールドフレンチガーデン	柏市	◎瀧仙郷(森田邸)	君津市
◎鰐 大和田	柏市	カリンの木の家	富津市
岡本硝子薄膜事業所	柏市		
樹来	野田市		
東京理科大学繊学部	野田市		
◎流通経済大学新松戸キャンパス	松戸市		
白樺文学館	我孫子市		
★ひとつの山の木で造る家1	我孫子市		
松ヶ丘の住宅	流山市		
[君津地域]		[印旛地域]	
		◎四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」	四街道市
		成田市保健福祉館	成田市
		ナスパコート公津モデルハウス	成田市
		シャレーK2	酒々井町
		若萩の家	印旛村
		今村邸	白井市
		スカイプラザ・ステーションタワー	佐倉市
[香取地域]		[印旛地域]	
		佐原市立香取中学校	佐原市
		★くりもとミレニアムシティ	栗源町

### 千葉県建築文化賞選考委員会

委員長 北原 理雄：千葉大学工学部教授

副委員長 岩村 和夫：武藏工業大学環境情報学部教授

委員 明智 克夫：(社)千葉県建築士会会長

委員 篠原 聰子：日本女子大学家政学部助教授

委員 夏目 幸子：建築家・千葉県医療技術大学校講師

委員 野口 瑞穂：工業・環境デザイナー

【敬称略 委員は五十音順】



#### 第11回千葉県建築文化賞

- ①流通経済大学 新松戸キャンパス
- ②四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」
- ③三和保健福祉センター
- ④みつわ台の家

#### 第11回千葉県建築文化奨励賞

- ⑤船橋のミニ戸建て開発
- ⑥鰻 大和田
- ⑦瀧仙郷(森田邸)

#### 千葉県建築文化賞の実績（応募点数・受賞作品数）一覧

第回	年	応募総数	建築文化賞				建築文化 奨励賞
			景観に配慮	高齢者・障害者等に配慮	環境に配慮	計	
1	1994	192	3	3		6	
2	1995	73	3	3		6	
3	1996	83	3	2		5	4
4	1997	87	4	1		5	5
5	1998	106	2	0	2	4	5
6	1999	101	2	2	2	6	3
7	2000	63	3	1	2	6	4
8	2001	88	2	2	2	6	2
9	2002	71	2	1	2	5	4
10	2003	79	3	2		5	4
11	2004	63	1	2	1	4	3
1~11	計	1,006	28	19	11	58	34

※1) 「環境に配慮した建築物の部」は第5回に創設した。 ※2) 「建築文化奨励賞」は第3回に創設した。

千葉県建築文化賞は、多くの方々の協力にささえられ、回を重ねてまいりました。  
その間、県下の広い地域にわたり、58の建築物が建築文化賞を受賞しそれぞれの地域に根づいています。  
第12回の作品募集は、平成17年夏に行う予定です、皆様のご応募をお待ちしております。

お問い合わせ先

千葉県県土整備部建築指導課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

TEL.043(223)3186 FAX.043(225)0913

社団法人 千葉県建築士会

〒260-0013 千葉市中央区中央4-8-5

TEL.043(202)2100 FAX.043(202)2101

千葉県